

平成25年6月7日

報道関係者 各位

## 「緑肥用ヒマワリ」の見ごろについて

市では化学肥料や農薬の使用量を減らすなど環境に配慮した「環境保全型農業」への取り組みを進めています。

その取り組みの一つとして、市内全域で約63,000㎡の畑に約100万本の「緑肥用ヒマワリ」の作付けを行っています。

6月9日ごろから、有明町大三東地区（原口町から有明町へのグリーンロード沿いの畑地帯の一角）の23,000㎡の畑で「ヒマワリ」が見ごろを迎えます。

鮮やかな黄色の大輪の「ヒマワリ」の花を探しに散策に出かけられてはいかがでしょうか。



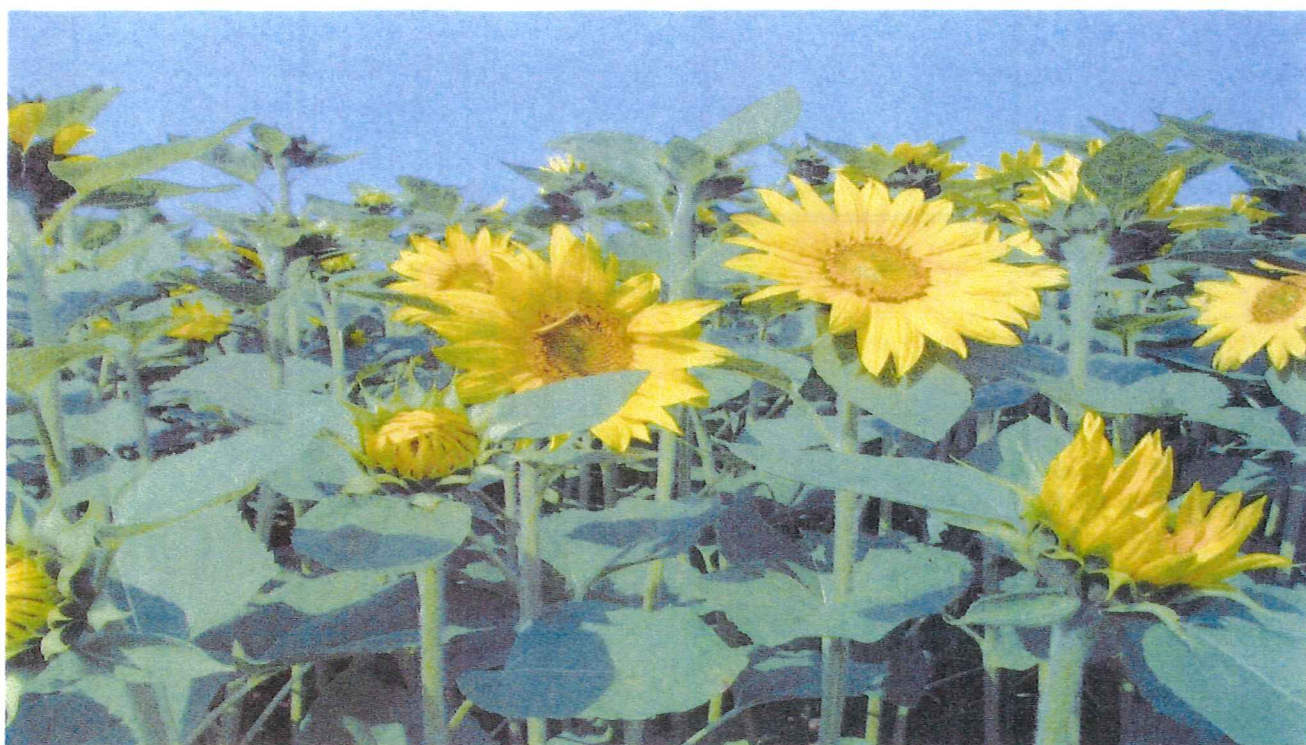
有明海にひらく湧水あふれる  
火山と歴史の田園都市 島原

担当：農林水産グループ

\_\_\_\_\_班 永田

電話：0957-68-1111（内線 553）

E-mail：〇〇〇@city.shimabara.lg.jp



(撮影、大三東地区)

島原市では、化学肥料や農薬の使用量を減らすなど環境に配慮した「環境保全型農業」への取り組みを進めています。その取り組みの一つとして、市内全域で約 63,000 ㎡、約 100 万本の緑肥用ヒマワリを作付しています。

暑さに負けず、ヒマワリの花を探して散策に出かけられてはどうか。

〔お問い合わせ先〕 島原市農林水産グループ

## 問い合わせ対応資料

島原市環境保全型農業推進協議会 会長 堀 利久

島原市では、化学肥料や農薬の使用量を減らすなど環境に配慮した「環境保全型農業」への取り組みを進めています。その取り組みの一つとして、市内全域で約6.3ha、約100万本の緑肥用ヒマワリを作付しています。

景観も考えて、グリーンロード沿いや、幹線道沿いの農地に作付をお願いしています。(夏の休耕時期に作付できるもの)

平成25年度は多くの方から作付の希望がありました。

作付は6.3ha (630a = 63,000㎡) 種子配布91.5kg

申請者15名

10a当たり 2万本

40日タイプ (超極早生種)

(10a当たり) チッ素 3～6kg リン酸 6～8kg カリ 7～10kg	植物が空気中のチッ素を根に養分として利用できるアンモニアに変える根粒菌を増やす。 ヒマワリ開花後1～2週間で圃場にすきこむ。
---	---

夜明けは東 日没後は西 花が咲けばだんだん東から動かない

平成12年(2000年)から有明町一野の酒井久孝氏が個人で実施

平成17年(2005年)から島原市環境保全型農業推進協議会が助成を開始した